

2021年3月期 第3四半期 決算補足資料

2021年2月5日



ダイワボウホールディングス株式会社

(証券コード：3107)

■ 特別調査委員会による調査結果の概要

- 繊維事業の連結子会社である旧ダイワボウノイ株式会社 (※1) において、2014年から2020年の6年間にわたり、元従業員 (行為者) が単独で架空循環取引 (※2) を実行していた
 - ※1: 2020年4月に繊維事業中核会社の大和紡績株式会社が吸収合併
 - ※2: ノイ社を含む複数社間で実際に製品の受渡が行われない帳票だけの架空取引を実施して資金循環をしていた
- 行為者はノイ社および関与会社に対して、書類の偽造や虚偽の説明により不適切な取引であることを隠蔽しており、ノイ社および関与会社に本件取引が架空ないしは循環取引である認識があったとは認められない

■ 再発防止策の概要

1. コンプライアンス意識の醸成と企業風土の改革

経営トップの率先垂範のもと、継続的な教育実施等によりグループ全役職員に対して「コンプライアンスは企業価値を判断する重要な要素である」という意識を醸成させる

2. グループ会社における内部統制の強化

グループ各社の業務プロセスについて「営業部門」「管理部門」「内部監査部門」におけるそれぞれのディフェンスラインを有効に機能させることで内部統制を強化する

3. グループガバナンス体制の再構築

グループ経営資源の的確な分配、リスクマネジメント体制の再構築、内部通報制度の適正な活用、グループ各社の内部監査部門との連携などの施策により、グループガバナンス体制の実効性について検証する

速やかに再発防止策を実行し、ステークホルダーの皆様からの信頼の回復に努めてまいります

2021年3月期 第3四半期 (2020年4月1日～2020年12月31日)

コロナ禍で事業環境が大きく変化する中で
売上高・営業利益ともに前期に次ぐ過去2番目の連結業績

ITインフラ流通事業

テレワーク等の活用による新たな働き方の提案を推進し、ノートPC・液晶モニタ等の関連商材やクラウドサービスの販売が増加するとともに、期の後半からは全国的に文教分野の売上が拡大
個人向け市場はEC販売への注力により好調に推移

繊維事業

除菌関連向けの商品は需要が増加しているものの、コスメ関連や重布製品、衣料品等は厳しい市場環境が継続し販売が低迷

産業機械事業

顧客における設備投資の停滞・計画延期や移動制限などの影響が長引き、受注および売上が減少

2021年3月期 3Q累計 連結決算概況

(百万円)	2020/3 3Q	2021/3 3Q	増減	前年比	通期予想	進捗率
売上高	710,607	709,830	△776	△0.1%	950,000	74.7%
営業利益	23,521	21,201	△2,319	△9.9%	30,800	68.9%
経常利益	23,577	21,630	△1,946	△8.3%	31,000	69.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,240	16,369	+1,128	+7.4%	21,000	78.0%
1株当たり 四半期純利益 (円)	792.55	851.29				

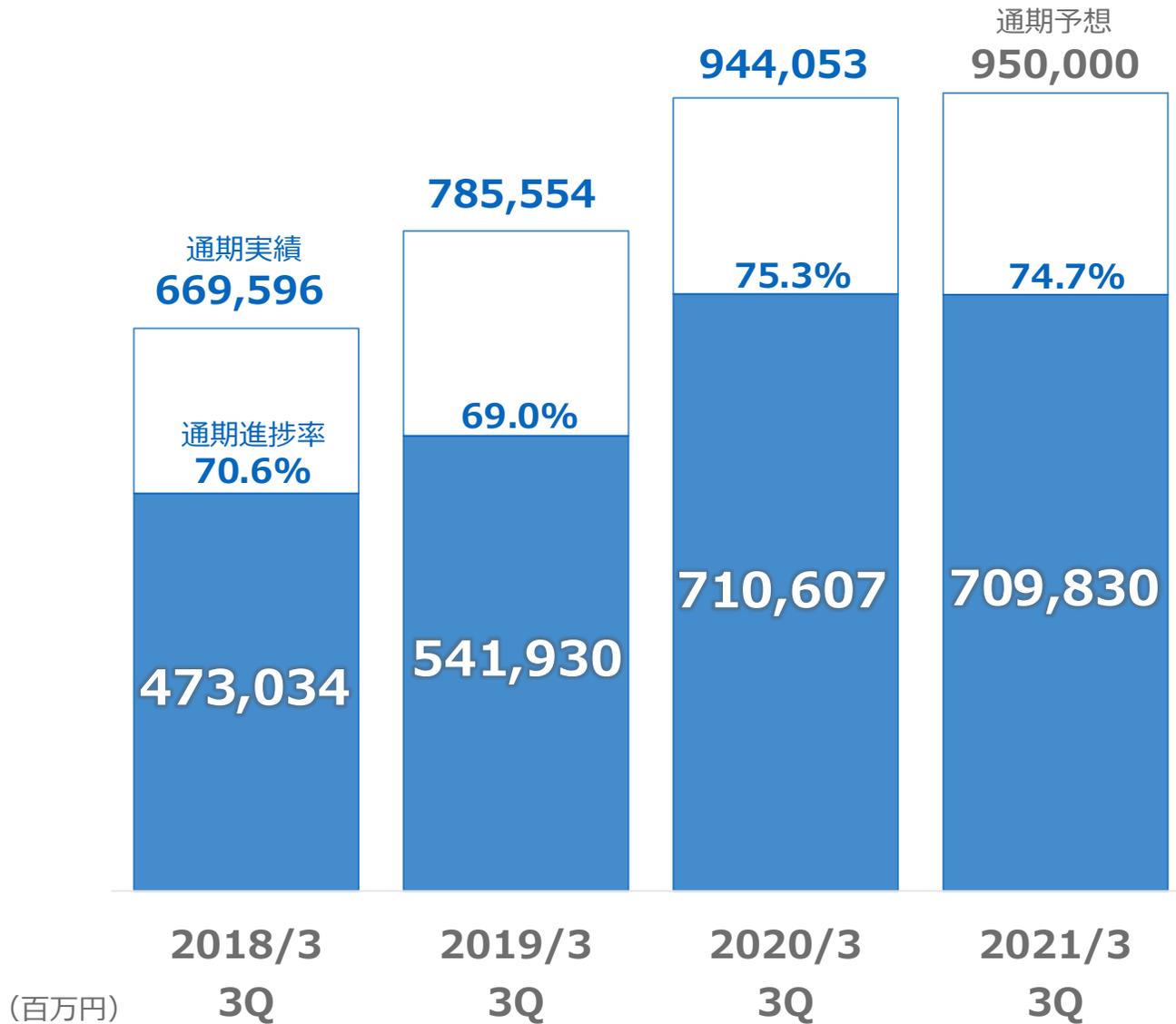
(百万円)	2020/3	2020/12	増減	主な増減理由
総資産	328,813	400,563	+71,749	売上債権・商品在庫の増加
純資産	104,741	118,671	+13,930	利益剰余金の増加
自己資本比率	31.6%	29.4%		

2021年3月期 通期業績予想

(百万円)	2020/3 (実績)		2021/3 (予想)		増減	前年比
	金額	率	金額	率		
売上高	944,053		950,000		+5,946	+0.6%
ITインフラ流通	857,008		875,500		+18,491	+2.2%
繊維	*72,180		61,700		△10,480	△14.5%
産業機械	12,988		11,700		△1,288	△9.9%
営業利益	32,841	3.5%	30,800	3.2%	△2,041	△6.2%
ITインフラ流通	28,161	3.3%	29,000	3.3%	+838	+3.0%
繊維	*3,874	5.4%	1,250	2.0%	△2,624	△67.7%
産業機械	753	5.8%	600	5.1%	△153	△20.4%
経常利益	33,195	3.5%	31,000	3.3%	△2,195	△6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21,178	2.2%	21,000	2.2%	△178	△0.8%

※2020年4月1日に繊維事業の大和紡績(株)において吸収合併をしたことにより、当期よりセグメントの管理区分を一部見直しております
前期セグメント情報の繊維事業は変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを参考数値として記載しております

2021年3月期 3Q累計 売上高



前年同期比 Δ **0.1%**

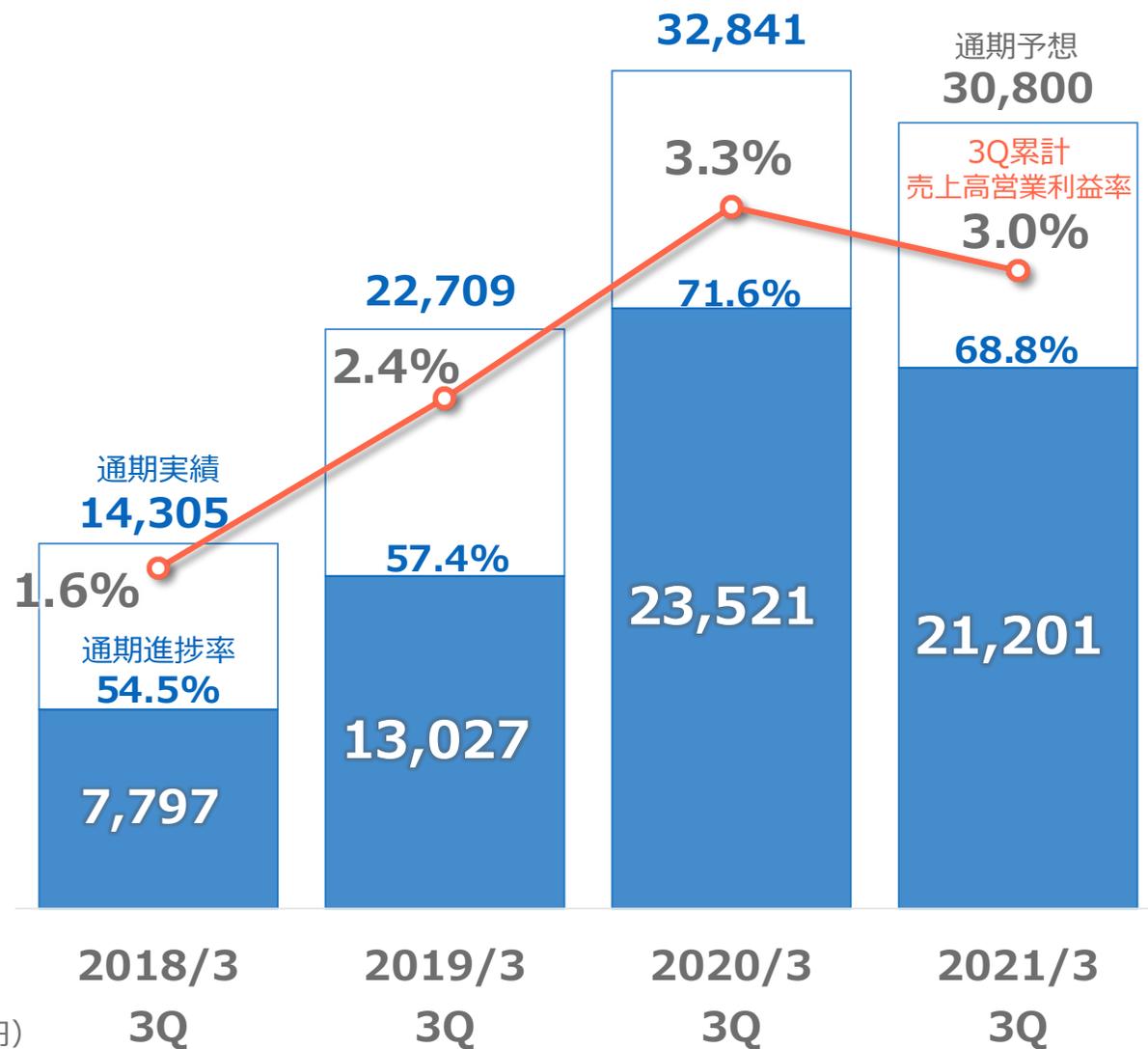
▶ 2019/3 3Q対比 +**31.0%**

▶ 3カ年平均成長率 +**14.5%**

3Q累計としては

前期に次いで過去2番目の業績

2021年3月期 3Q累計 営業利益



前年同期比 Δ **9.9%**

▶ 2019/3 3Q対比 +**62.7%**

▶ 3カ年平均成長率 +**39.6%**

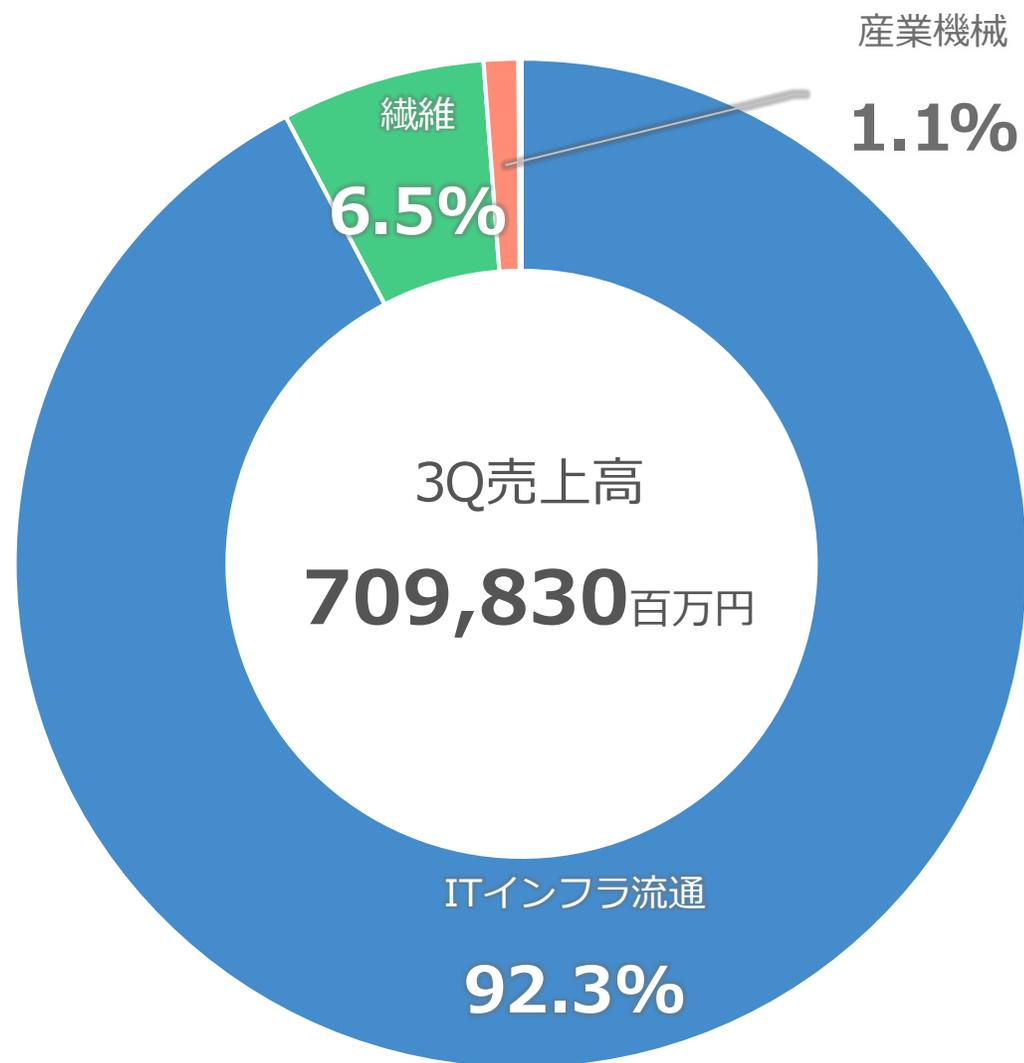
売上高営業利益率 **3.0%**

(百万円)

2021年3月期 3Q累計 セグメント別業績

(百万円)		2020/3 3Q	2021/3 3Q	増減	前期比
売上高	ITインフラ流通	644,427	655,037	+10,609	+1.6%
	繊維	55,600	46,000	△9,599	△17.3%
	産業機械	9,078	7,979	△1,099	△12.1%
	その他	1,500	813	△687	△45.8%
	合計	710,607	709,830	△776	△0.1%
営業利益	ITインフラ流通	20,006	20,234	+228	+1.1%
	繊維	2,996	659	△2,336	△78.0%
	産業機械	464	362	△102	△22.0%
	その他	51	△54	△106	-
	(調整額)	3	0		
合計	23,521	21,201	△2,319	△9.9%	

※2020年4月1日に繊維事業の大和紡績(株)において吸収合併をしたことにより、当期よりセグメントの管理区分を一部見直しております
前期セグメント情報は変更後の報告セグメントの区分方法に基づき作成したものを開示しております



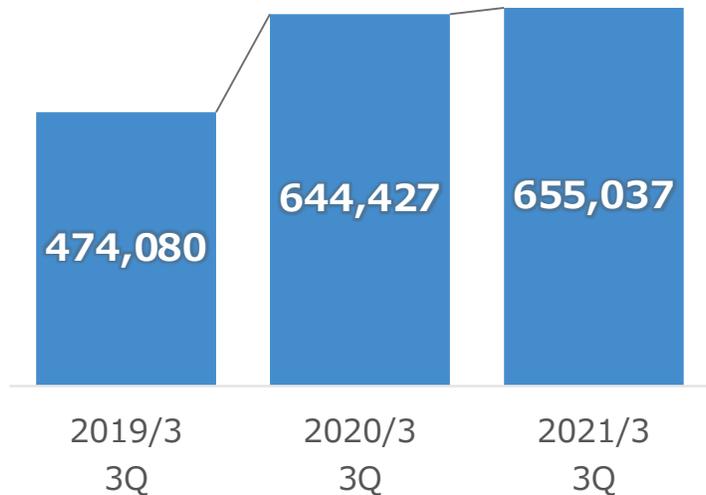
売上高構成割合

	2020/3 3Q	2021/3 3Q
ITインフラ流通	90.7%	92.3%
繊維	7.8%	6.5%
産業機械	1.3%	1.1%

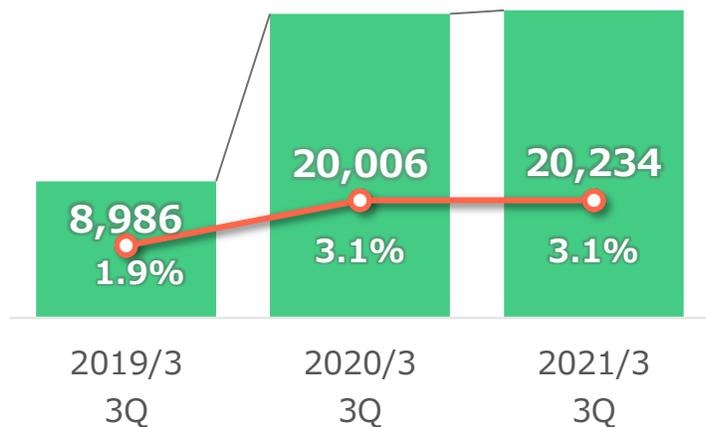
営業利益構成割合

	2020/3 3Q	2021/3 3Q
ITインフラ流通	85.1%	95.4%
繊維	12.7%	3.1%
産業機械	2.0%	1.7%

(百万円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率



3Q累計売上高 655,037百万円 (前期比+1.6%)

3Q累計営業利益 20,234百万円 (前期比+1.1%)

PC出荷台数 312.8万台 (前期比+1.0%) ※前々期比+85.5%

サーバー出荷台数 4.2万台 (前期比△6.0%)

事業概況

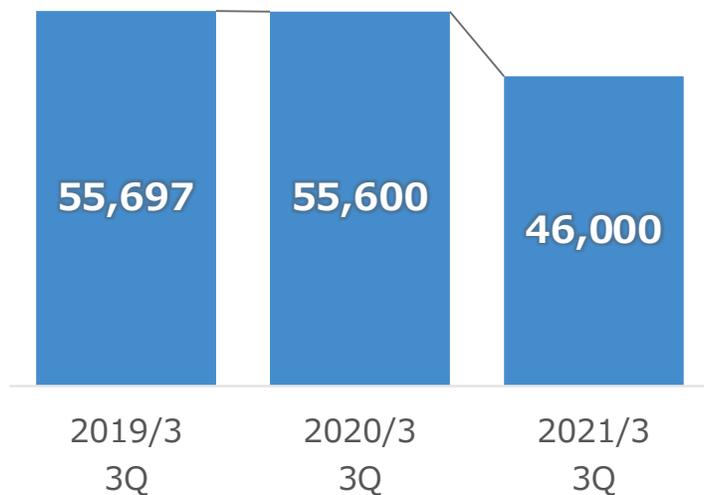
法人向け市場

- コロナ禍で企業の設備投資が減少したものの、ニューノーマルな働き方のITニーズを捉え、テレワーク関連商品の需要は増加
- クラウドサービスを中心にiKAZUCHI(雷)を通じたサブスクリプション型ビジネスの受注が拡大
- 文教分野では期の後半から全国的に端末の出荷が本格化したことで、販売が拡大

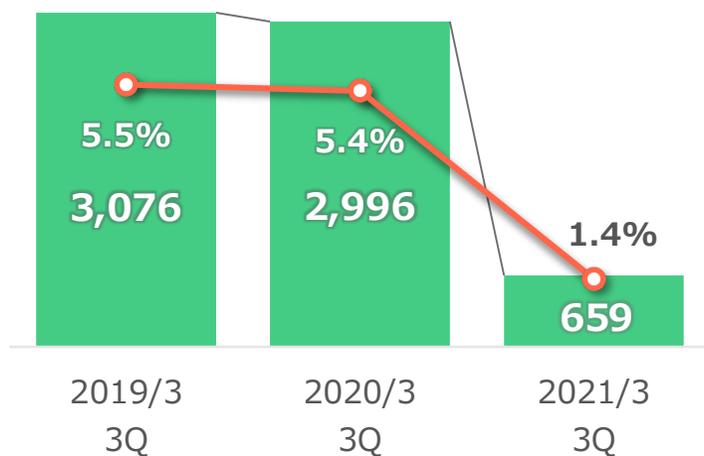
個人向け市場

- 在宅勤務やオンライン学習の推進によりノートPCや液晶モニタ等の需要が高まり、EC販路を中心に商材確保・提案を強化したことで好調に推移

(百万円)



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 売上高営業利益率



3Q累計売上高 **46,000**百万円 (前期比△17.3%)

3Q累計営業利益 **659**百万円 (前期比△78.0%)

	不適切取引の影響額	【参考】影響除外時	
売上高	△640百万円	46,641百万円	前期比△16.1%
営業利益	△1,994百万円	2,654百万円	前期比△11.4%

事業概況

合織・レーヨン部門

■ コスメ関連や衣料向けでは厳しい環境が続くものの、除菌関連向け商品や不織布用レーヨン綿の販売が大幅に増加

産業資材部門

■ テント・帆布などの重布関連商品において各種イベントの中止や建築工事の減少により受注が低迷

衣料製品部門

■ 抗ウイルス関連の機能性製品の販売は好調に推移したが、カジュアル衣料は苦戦

(百万円)



3Q累計売上高 **7,979**百万円 (前期比△12.1%)

3Q累計営業利益 **362**百万円 (前期比△22.0%)

事業概況

工作機械部門

- 日本工作機械工業会の4～12月受注総額は前期比22.9%減となり、コロナ禍による設備投資の低迷を受けて業界全体として厳しい市場環境が長期化する中で、受注高が前期比35.9%減少
- 企業の設備計画の見直しが影響し減収

自動機械部門

- 国内における自動包装機械のニーズは堅調であるものの、設備投資に対する慎重な姿勢が強まり、受注高は前期比35.6%減少

2021年3月期 第3四半期までの主な影響

ITインフラ 流通事業

- 企業の事業継続と従業員の安全確保のため、テレワークやオンライン会議の活用をはじめとしたIT環境整備が加速
- 個人向け市場を中心に在宅用途のIT関連需要が急増
ex. ノートPC
液晶モニタ、マウス、キーボード
ヘッドセット、WEBカメラ 等
- 緊急経済対策に基づく「GIGAスクール構想」の早期実現
- IT関連商品・部品の製造拠点で工場稼働が滞ることによるサプライチェーンへの影響
- 企業業績への悪影響に伴う設備投資の保留・縮小

現状サプライチェーンへの影響は限定的であるが、局地的な感染拡大等によるリスクを想定



独立系マルチベンダーとしての強みを発揮して柔軟に対応

繊維事業

- 除菌シート等の不織布やマスク用合繊綿の需要が増加
- 外出自粛等による衣料品・コスメ関連の市況悪化
- 工場稼働低下やイベント中止による産業資材の需要減

個人消費の低迷については一部で回復の兆しがみられる

産業機械事業

- 航空機関連をはじめ、企業の設備投資が停滞
- 海外向けの営業活動・出張工事が一部制限

中国市場は景気回復基調にあるが航空機関連は停滞長期化懸念

2021年3月期 3Q 連結貸借対照表 (決算短信P3-4)

(百万円)	2020/3	2020/12	増減		2020/3	2020/12	増減
流動資産	276,285	349,053	+72,767	流動負債	192,514	254,409	+61,894
現金及び預金	31,600	32,599	+998	支払手形及び買掛金	158,067	205,975	+47,907
受取手形及び売掛金	196,390	241,092	+44,701	短期借入金	12,608	27,552	+14,943
商品及び製品	33,341	55,521	+22,180	固定負債	31,558	27,482	△4,075
有形固定資産	39,522	38,749	△772	長期借入金	19,027	14,574	△4,453
無形固定資産	3,403	2,888	△515	負債合計	224,072	281,891	+57,819
のれん	387	101	△285	純資産合計	104,741	118,671	+13,930
その他	3,016	2,786	△230	負債純資産合計	328,813	400,563	+71,749
投資その他の資産	9,601	9,872	+270				
資産合計	328,813	400,563	+71,749				

商品及び製品	33,341	→	55,521	+22,180	4Q以降の納品に向けた在庫確保
支払手形及び買掛金	158,067	→	205,975	+47,907	最終日が休日の影響で決済がずれたことによる増加
借入金合計	31,635	→	42,126	+10,490	DIS仕入増加への対応に伴う短期借入金の増加

2021年3月期 3Q累計 連結損益計算書 (決算短信P5)

(百万円)	2020/3 3Q		2021/3 3Q		増減	前期比
	実績	率	実績	率		
売上高	710,607		709,830		△776	△0.1%
売上総利益	59,114	8.3%	55,019	7.8%		
販売費及び一般管理費	35,593	5.0%	33,817	4.8%		
営業利益	23,521	3.3%	21,201	3.0%	△2,319	△9.9%
経常利益	23,577	3.3%	21,630	3.0%	△1,946	△8.3%
特別利益	-		1,459			
特別損失	1,219		740			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,240	2.1%	16,369	2.3%	+1,128	+7.4%

特別利益 DIS物流センター売却益（**754**百万円）、繊維事業海外工場の移転補償金（**658**百万円）

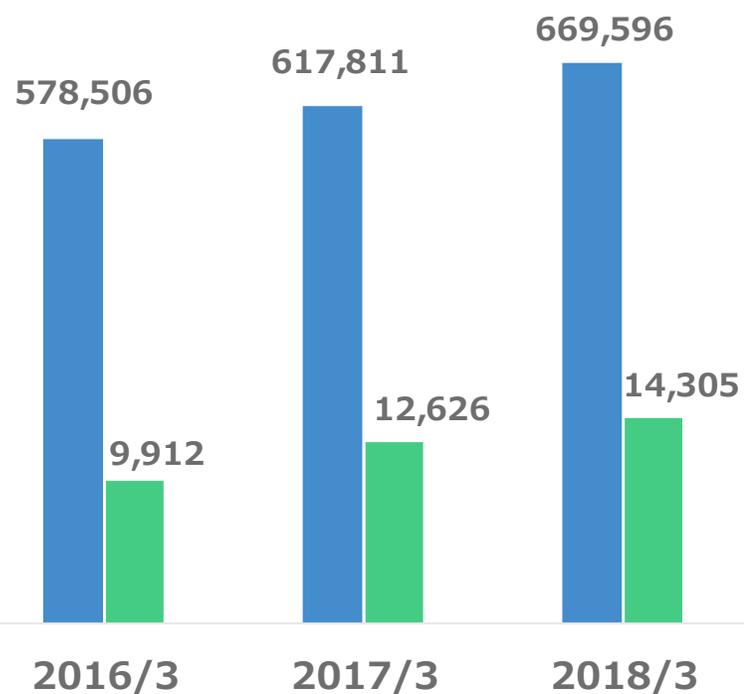
特別損失 遊休地等の減損損失（**521**百万円） ※前期特別損失：繊維事業和歌山工場の減損損失（**1,018**百万円）

中期経営計画の進捗状況

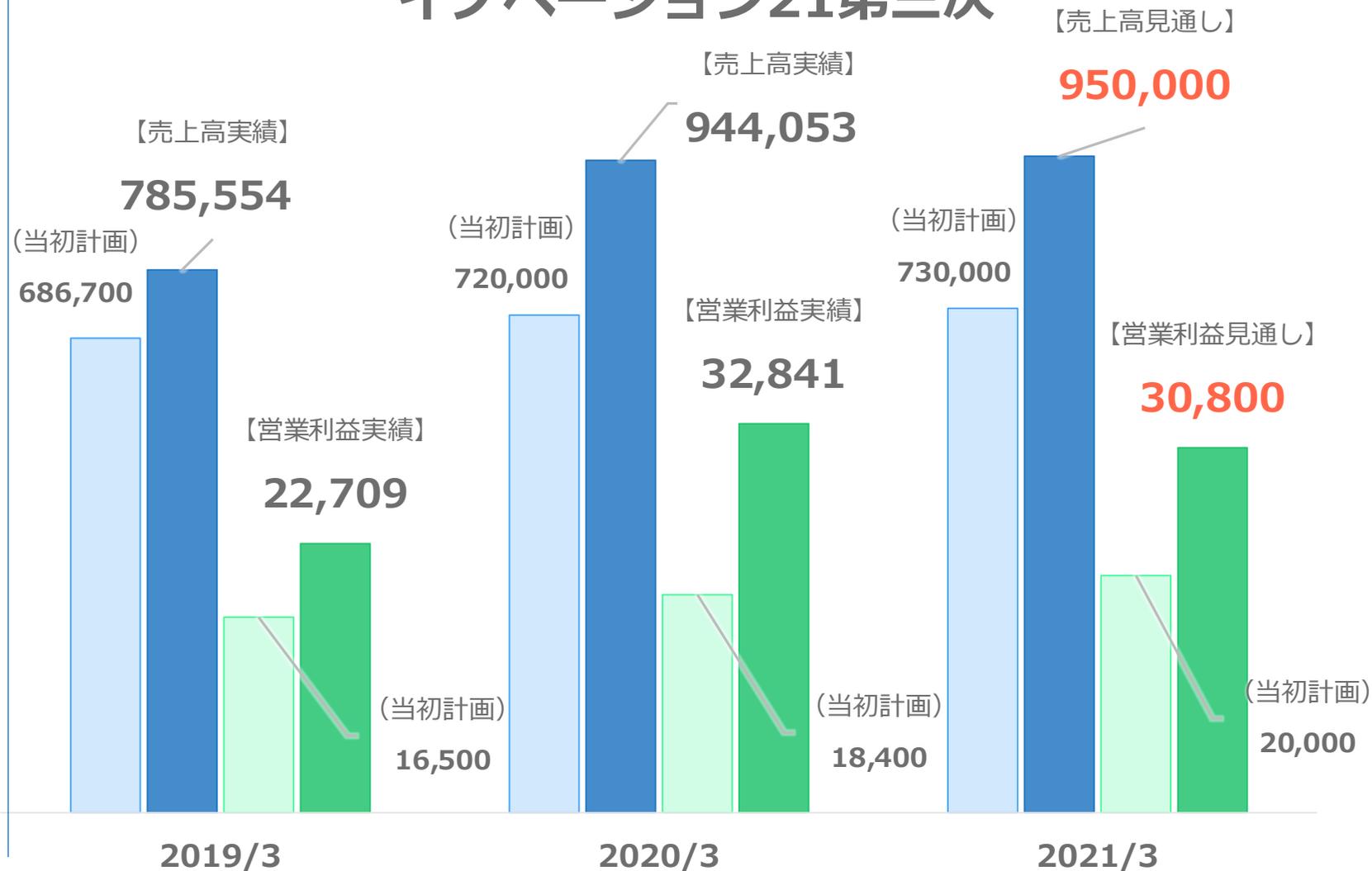
(百万円)

イノベーション21第二次 (実績)

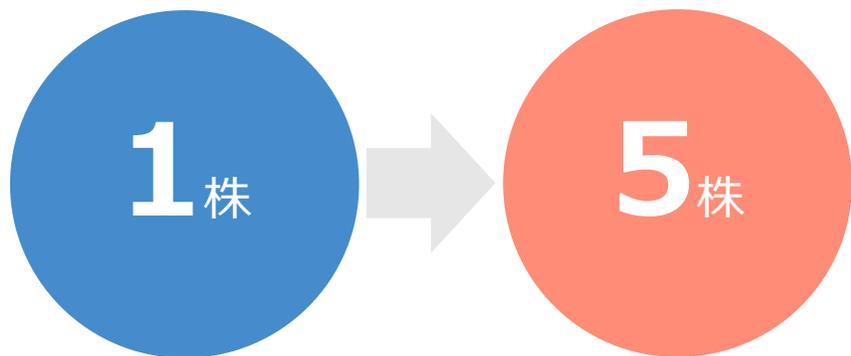
- 連結売上高
- 連結営業利益



イノベーション21第三次



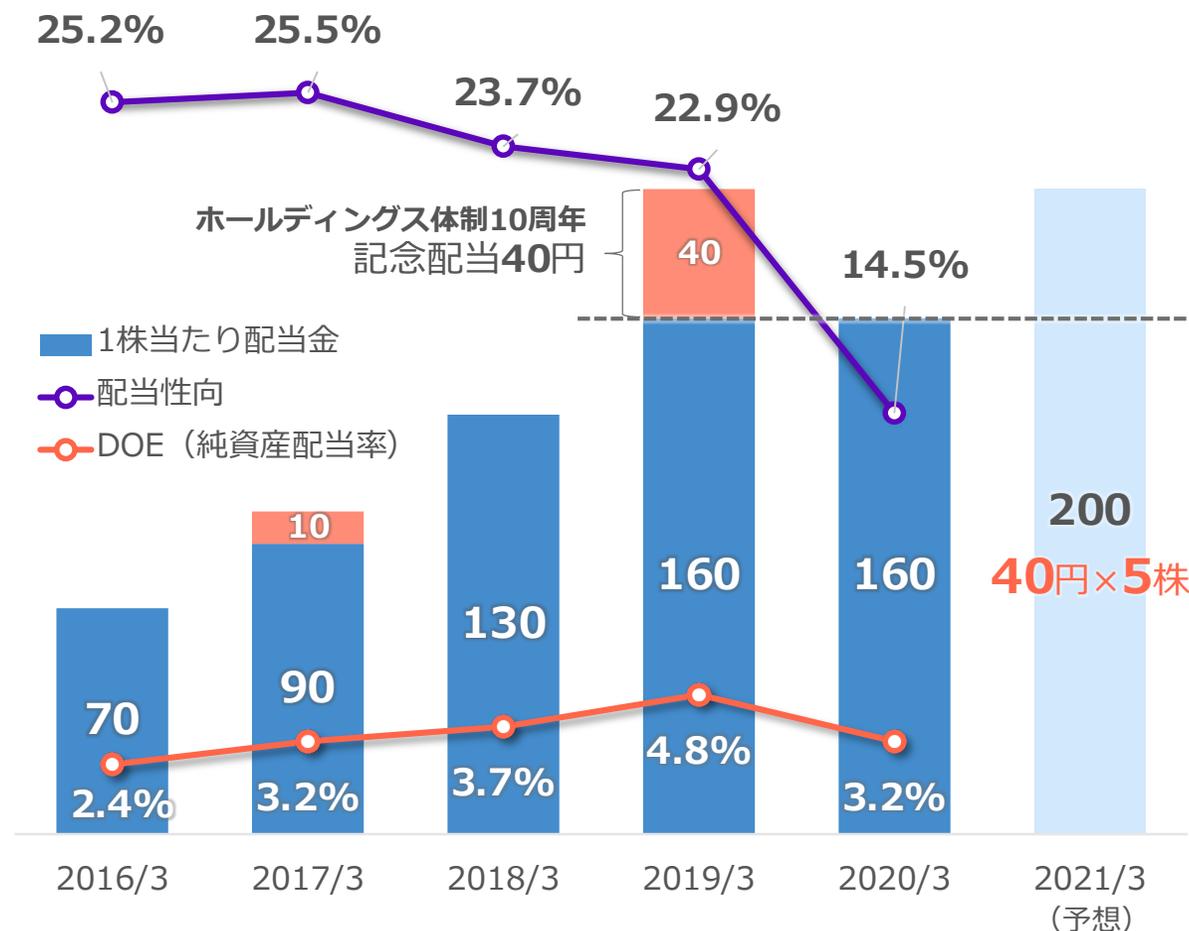
株式分割



1株につき5株の割合

目的	投資家層の拡大と株式の流動性の向上
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年4月1日

実質40円増配



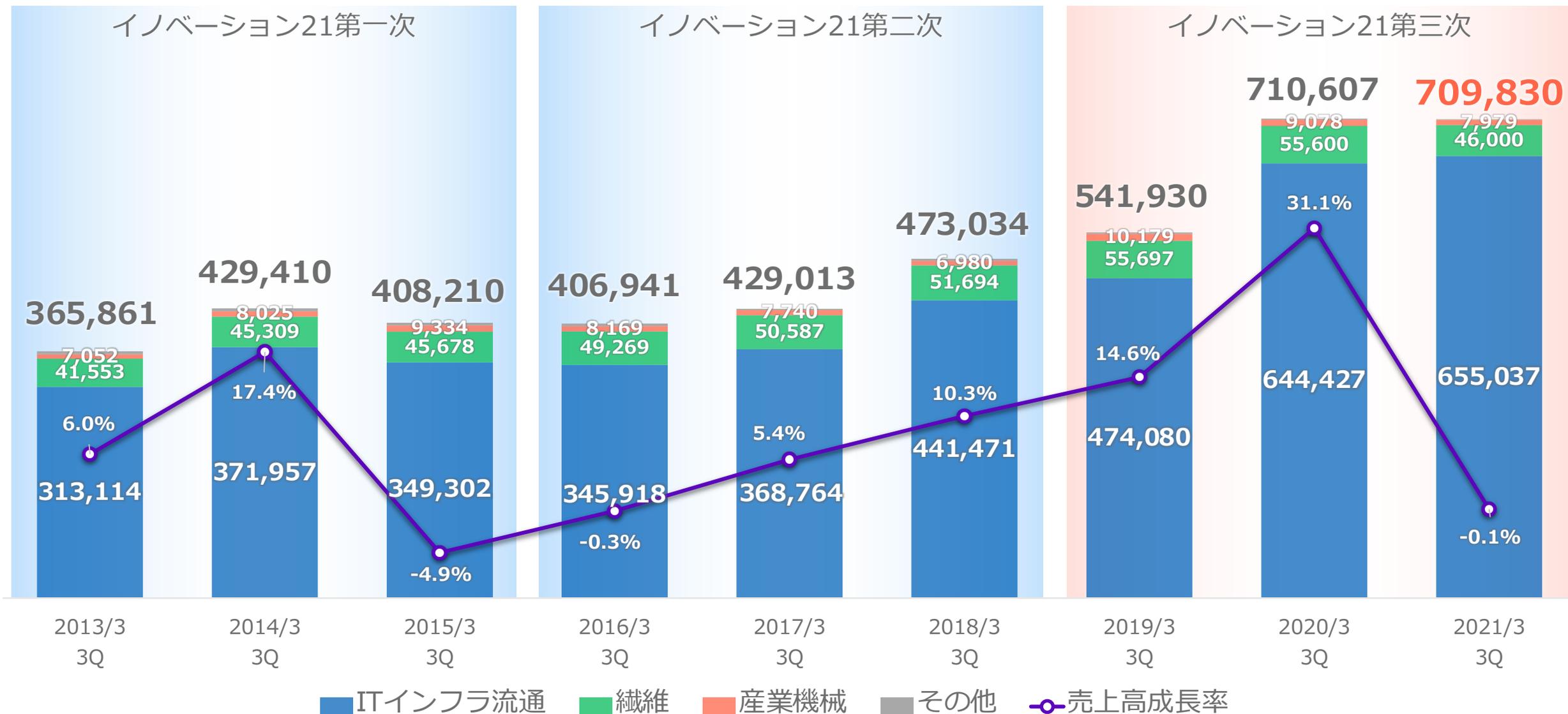
(注) 2017年10月1日に単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、株式について10株を1株への併合を実施

(注) 1株当たり配当金については全て併合後に換算して表示しています

【参考資料】業績推移グラフ

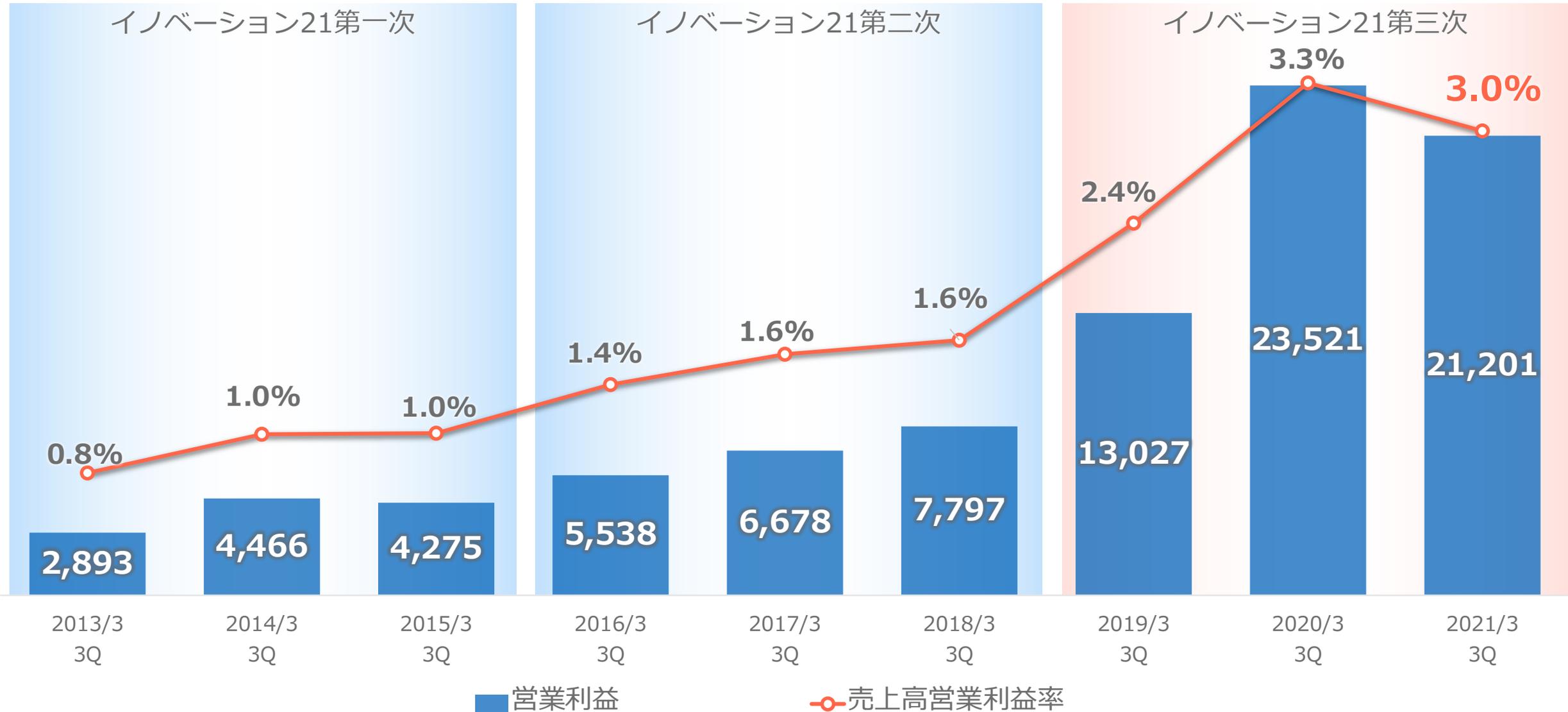
連結売上高（3Q累計期間）

(百万円)



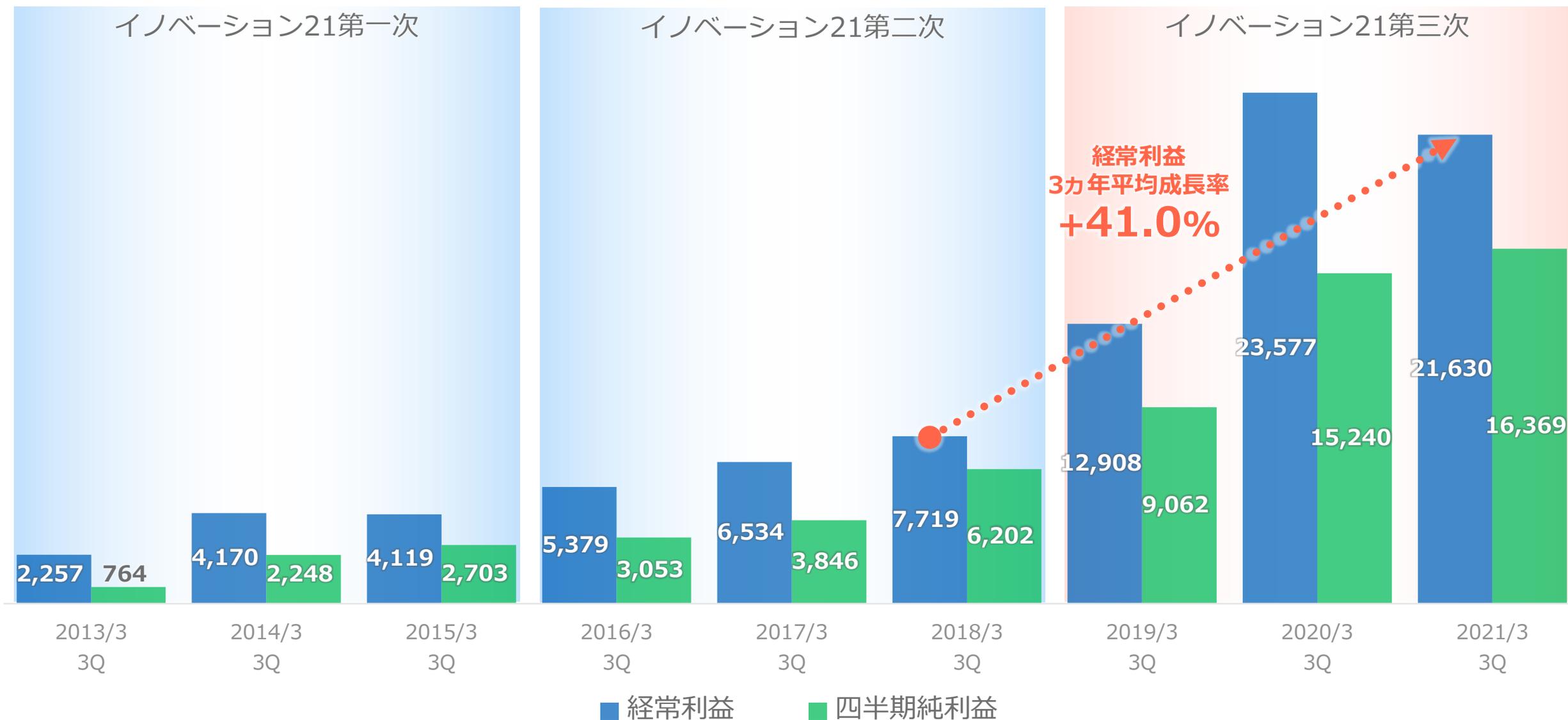
連結営業利益（3Q累計期間）

(百万円)



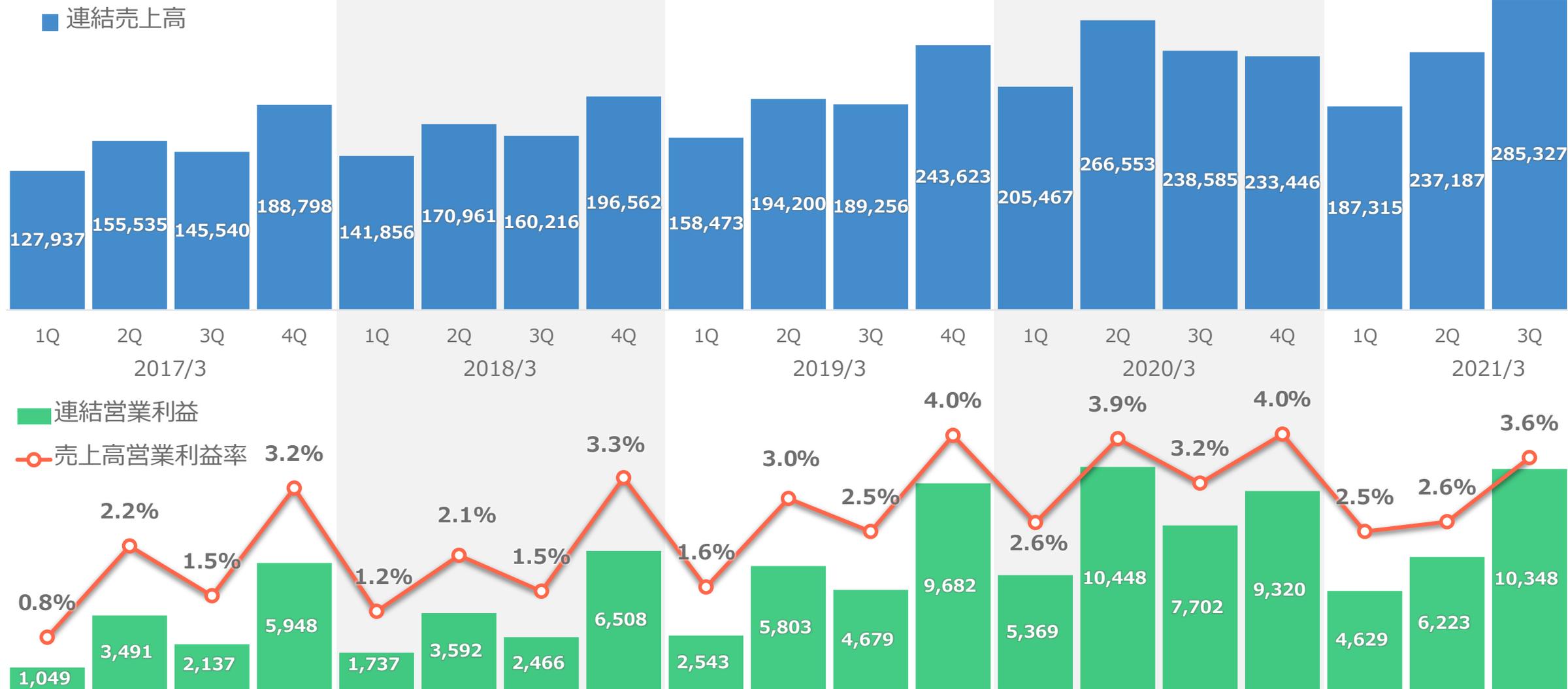
連結経常利益・連結四半期純利益（3Q累計期間）

(百万円)



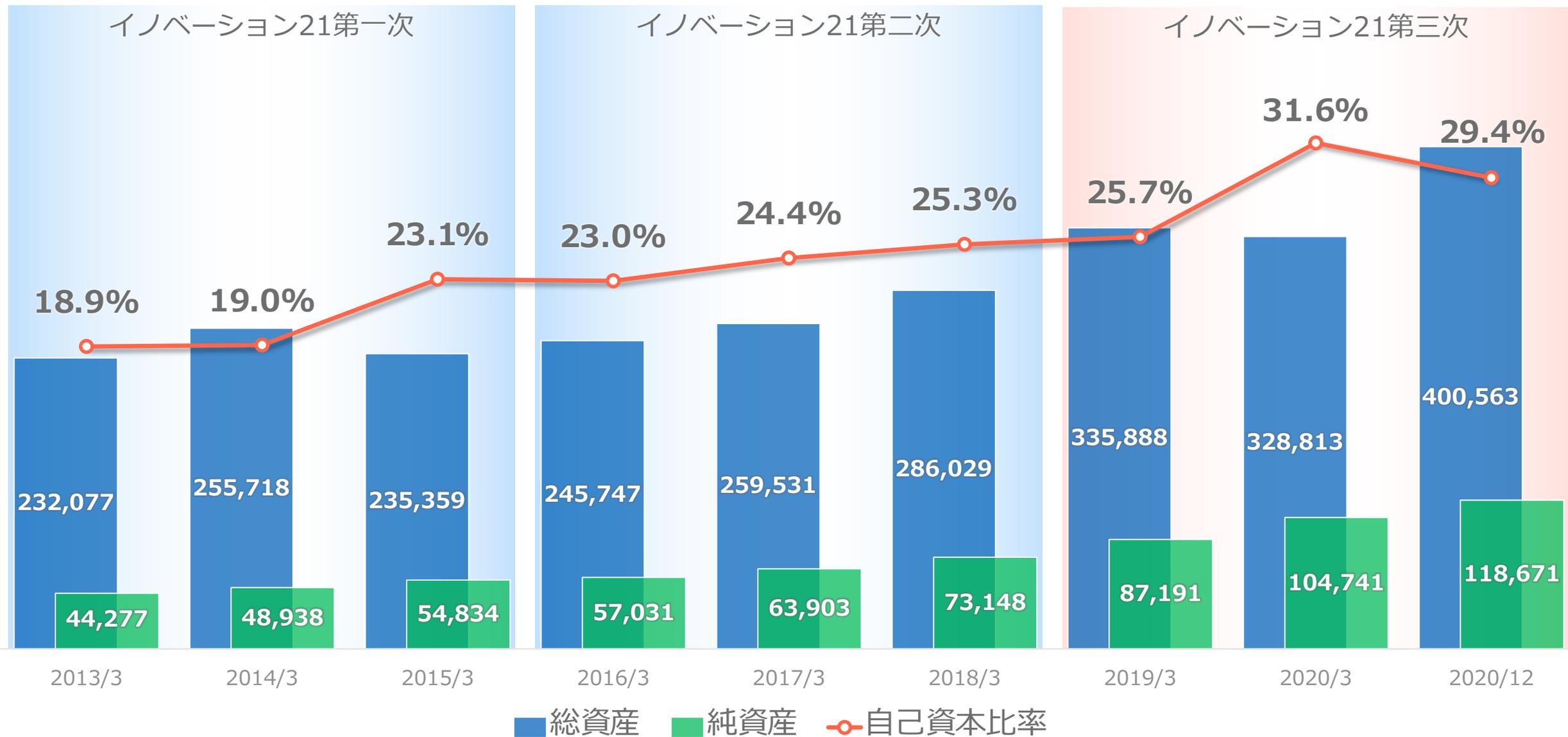
四半期別業績

(百万円)



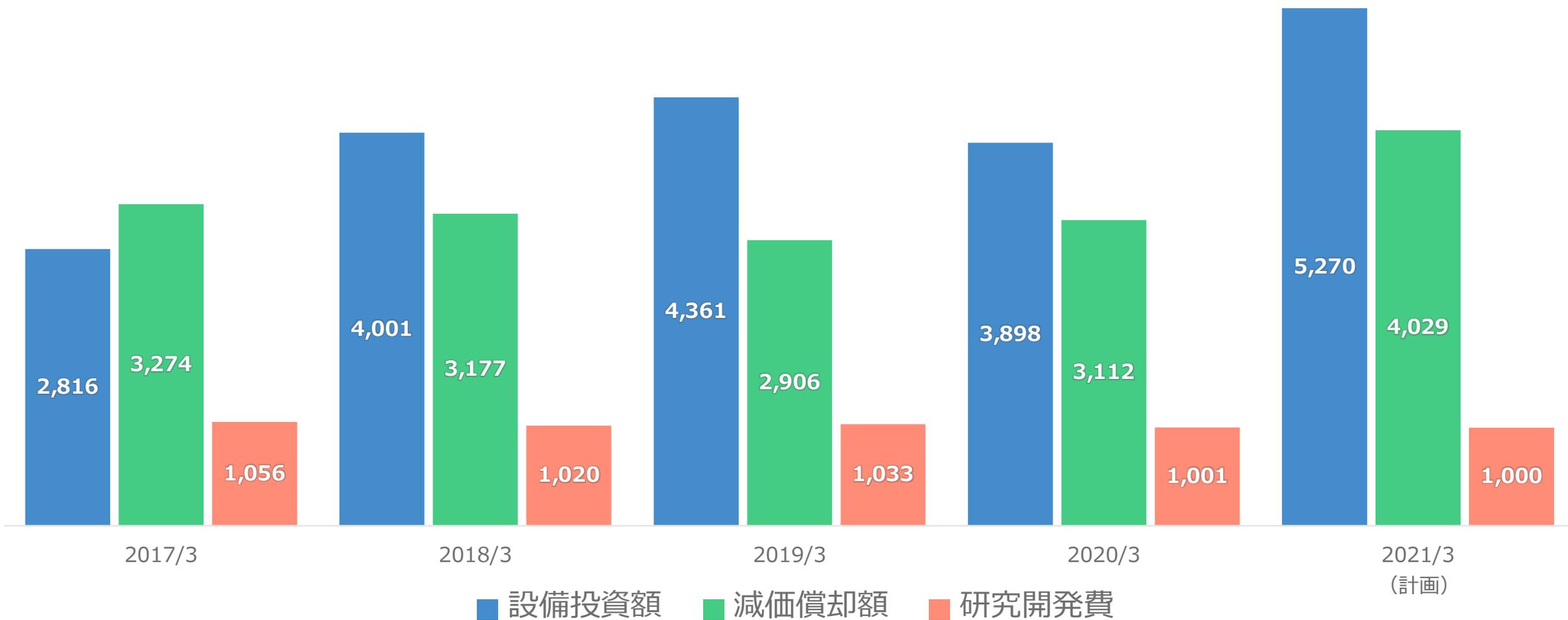
連結総資産・連結純資産・自己資本比率

(百万円)



設備投資額・減価償却額・研究開発費

(百万円)



<https://www.daiwabo-holdings.com/>



ダイワボウホールディングス株式会社

【免責事項】

本資料に記載された業績予想値等の将来に関する記述は、現在入手可能な情報をもとに、当社が現時点で合理的であると判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、その正確性を保証するものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因により本資料の内容と異なる可能性のあることをご承知おきください。なお、当社は理由の如何にかかわらず、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても責任を負うものではありません。

※本資料中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。